

目的

日常生活、仕事等の場で使いこなすことが要求される数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を学ぶ。さらに、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、これらを説明し、適切に活用できるようになることをめざす。

学修到達目標

1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを説明できる。
2. データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ・AIを活用する価値を説明できる。
3. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを説明できる。
4. 適切なデータ可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。
5. データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理について説明できる。
6. 個人のデータを守るために留意すべき事項を説明できる。

修了要件

対象学部	教育科目区分	科目名	単位数
経済学部 医学部 理工学部 福祉健康科学部	教養教育科目	データサイエンス入門	1
教育学部	教養教育科目	教育データサイエンス入門	1

特色

授業内容

- 全学部教員の協働によるリテラシーレベルに特化した**新規科目**
- 各学部の学生の習熟度、予備知識の違いと**専門性の文脈に配慮した学習意欲を高めるコンテンツ**

学生への学習支援

- 目安としての学修スケジュールを示しつつも、**オンデマンドで各自のペースで学修可能**
- **いつでも何度でも、オンデマンド動画教材の視聴、オンラインテストの受験が可能**
- 本科目専用メーリングリストを学生に明示し、学生からの質問に対して担当教員が**協働して迅速に対応**できる体制



オンデマンド動画教材とオンラインテスト

全学履修

- 令和4年度入学生の履修率は**93.9%**
- 令和6年度入学生より、**履修率100%**を予定
- 社会人向け**リカレント教育**プログラム・高校生向け**高大接続**プログラムでの活用を計画

質保証の取組

- **学生モニター**による事前の形成的評価に基づいたコンテンツ改善
- 科目全体の授業評価アンケートや、**各回のコンテンツ評価アンケート**を活用した授業改善
- LMSの**学習行動履歴データ**を活用した学生の学修を促すためのフィードバック方法の検討